

※タイトル記入は裏面をご利用下さい。

中学生の 家庭学習ノート



須賀川市立第二中学校


CLEAR
BOOK
side vents

B5-40P / B4-20P

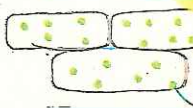
- 逆さにしても書類が
抜け落ちません。
- 見開きでB4サイズの
書類も入ります。



6/9 理科 葉のつくり 色ペンで見やすく

細胞・・・生物のからだをつくる
 小さな部屋のようなもの
 葉の緑色の部分の細胞には

まじり
 だね
 ⑨

 小さな緑色の粒 **葉緑体** が見られる
 葉緑体

孔辺細胞・・・葉の表皮には、三日月形の細胞が見られる



← 気体の出入口

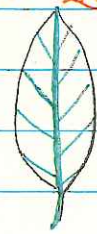


葉脈・・・葉に見られる筋のこと

平行に通る葉脈 網目状に通る葉脈

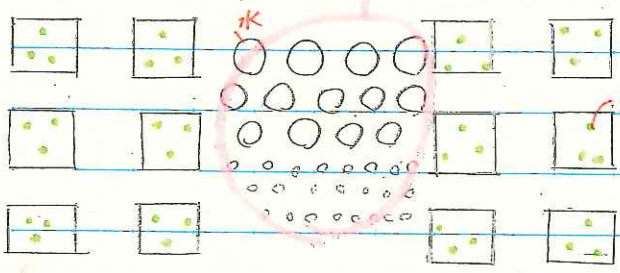


- ・ササ
- ・いね
- ・ツユクサ
- など

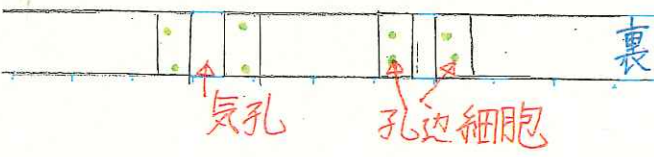


- ・サクラ
- ・アサガオ
- ・ツバキ
- など

葉脈 {水や肥料} の通り道の管の集まり
 {養分} 表 維管束 という



蒸散・・・根から水を吸い上げ、気孔から水が水蒸気となって、出ていく現象



6/13

(金)

歴史

テスト範囲の復習

6/16



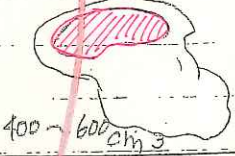


世界の古代文明と宗教のおこり

＜猿人＞

現在知られている最も古い人数は、今から約700万年から600万年前にアフリカにあらわれた猿人で、かれらはすでに後ろ足で立っていたと考えられています。

そして、現在のところ最古の人類は、アフリカのチャドで2001年に発見された、サハラントプス・チャデンシスとされています。

＜脳容積＞

	猿人
	原人
	新人

＜原人＞

今から200万年ほど前に出現した原人は、石を打ち欠けてするどい刃を持つ打製石器をつくり始め、これを使って、動物をとらえて食べたり、猛獣から身を守ったりすることができました。

食べたり、猛獣から

＜新人＞

やがて人類は火や言葉を使うこともできるようになりました。

今から約20万年前ほど前には、現在の人類の直接の祖先にあたる新人(ホモ・サピエンス)が現れ、世界中に広がりました。

狩りや採集を行って移動しながら生活し、打製石器を使っていた時代を旧石器時代と呼び、1万年ほど前まで続きました。



重要単語

- ① 猿人
- ② サハラントプス・チャデンシス
- ③ 原人
- ④ 打製石器
- ④ 新人
- ⑤ ホモ・サピエンス
- ⑥ 旧石器時代

〈新石器時代〉

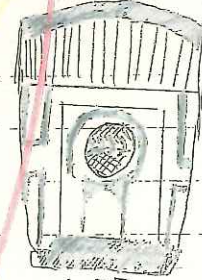
今から1万年ほど前に、気温が上がり始めると、食用となる木の実が増えました。

また、弓と矢を発明したことで、小形で動きのすばやい動物をとることができました。

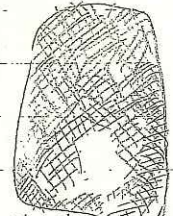
こうして人々は、木の实や魚、貝、動物をとって食料にしていたが、やがて麦やあわ、稻を栽培し、牛や羊などの家畜を飼うところもあらわれました。

このころ土器が発明され、食物を煮ることができるようになり、また、木を切ったり加工したりしやすいように、表面をみがいた磨製石器もつくられるようになりました。

土器や磨製石器を使い、農耕や牧畜を始めたこの時代を新石器時代といいます。



土器



磨製石器

〈文明のおこり〉

アフリカやアジアの大河のほとりでは、文明がおこりました。農耕や牧畜が発達し、人々は食料を計画的に生産し、たくわえるようになりました。食料がたくわえられるようになると、それをめぐると争いが増え、やがて強い集団が弱い集団を従えて、国ができました。

人々から選ばれて、戦争や祭り、工専などの指揮していた人が、しだいに人々を支配して税を取るようになり、支配する者と、支配される者の区別ができました。

やがて神殿や宮殿などを持つ都市が生まれ、また、戦争に用いる青銅器や鉄器などが作られるようになり、文字も発明されました。

重要単語

- ① 土器
- ② 新石器時代
- ③ 磨製石器
- ④ 文明
- ⑤ 国